

## 1. 業務の概要

当センターは、昭和 51 (1976) 年に誕生した、環境保全及び保健衛生行政を支える総合的な試験研究機関です。試験検査や監視測定、調査研究、研修指導などを行うとともに、大気汚染情報、感染症情報等、様々な情報発信を行っています。

## 2. 各部署の業務

○総務課：センターの庶務、予算、経理及び物品の管理、施設の管理、所内全般の連絡調整等の業務を行っています。

○企画情報室：センターの試験検査、調査研究、研修指導及び環境学習等の企画調整や広報等を行っています。また、外部評価委員会等の運営、食品 GLP に関する信頼性確保業務も行っていきます。

☆感染症情報センター：基幹地方感染症情報センターとして、県内の感染症の発生状況及び動向の把握を行い、国に報告するとともに、解析した情報をホームページ等により広く県民や医療機関等に周知しています。

○環境科学部

☆大気科：県内の大気汚染状況を常時監視し、大気汚染情報などで県民に注意を促しています。また、工場・事業場の排出ガス検査や環境中の有害大気汚染物質の測定を行っています。調査研究は「PM2.5 の現況把握に関する研究」を実施しています。

☆水質科：工場・事業場の排水、河川や湖沼、地下水などの水質分析や土壌の分析を実施しています。また、魚の大量死等の水質事故や廃棄物の不法投棄などに対する緊急対応を行っています。調査研究は「児島湖水質汚濁メカニズムの解明」などを実施しています。

☆放射能科：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター（鏡野町）周辺の大気や陸水、土壌、植物などの環境放射線等の監視測定や県内の環境放射能水準調査などを実施しています。調査研究は「人形峠周辺の環境放射線等測定に係る補完調査」を実施しています。

○保健科学部

☆細菌科：ヒトの病原細菌（腸管出血性大腸菌 O157、レジオネラ、結核等）や食中毒の原因（細菌や自然毒）の検査を行っています。調査研究は「感染症起因菌の疫学調査」を実施しています。

☆ウイルス科：ヒトのウイルス（インフルエンザ、ポリオ（小児まひ）、麻しん、風しん等）やダニが媒介するリケッチア（細菌の一種）の検査を行っています。調査研究は「迅速で正確な検査法に基づく胃腸炎起因ウイルスの感染対策」を実施しています。

☆衛生化学科：食品中の残留農薬等の有害化学物質やアレルギー物質、遺伝子組換え食品の含有などの検査を実施しています。また、家庭用品や医薬品などの検査も行っていきます。調査研究は「食品と医薬品等に含まれる有害化学物質等の分析技術の開発に関する研究」を実施しています。

